

# 本懇談会が目指すもの

事務局

平成16年3月1日

# 本懇談会における「ユビキタスネット」の特質

---

- 「いつでも、どこでも、何でも」繋がる
- 「誰でも」繋がる

- 意識せずに使える
- 皆に便利であり、特にお年寄りでもカンタンに使える
- そして子供でも安心できるネット

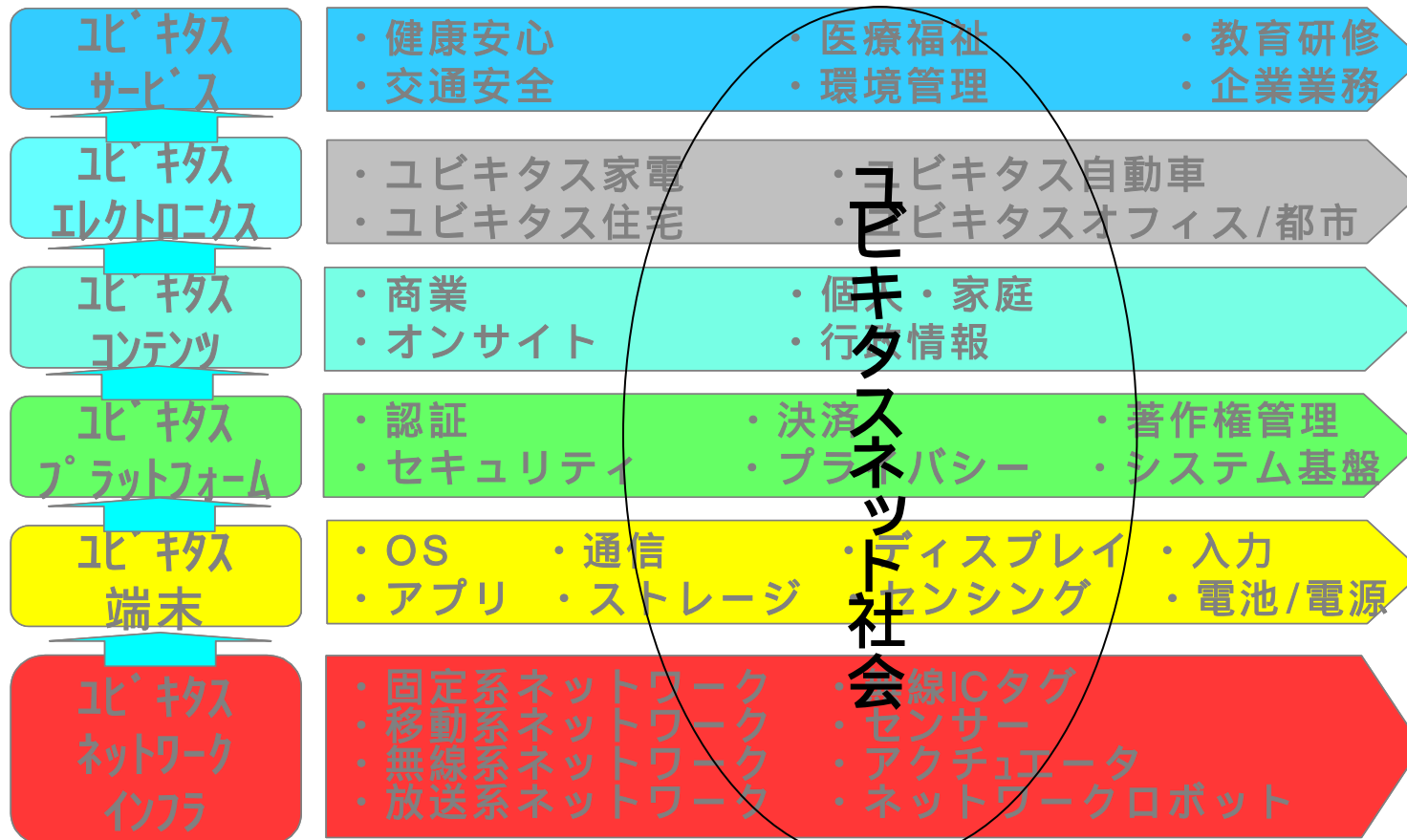
- 個別の要素技術とともに(無線・暗号・セキュリティ……)
- 個別のサービスとともに(課金・認証……)
- それらが一体となった新しいIT利活用環境

- 供給サイドの視点のみならず
- 利用者・利活用の視点に立ったもの

# 「ユビキタスネット社会」のイメージ

## • ユビキタスネット社会

- 個別の要素技術とともにネットワークから情報機器、プラットフォーム、ソリューションまでを貫く新しいIT利活用環境を備えた社会を対象とすべき

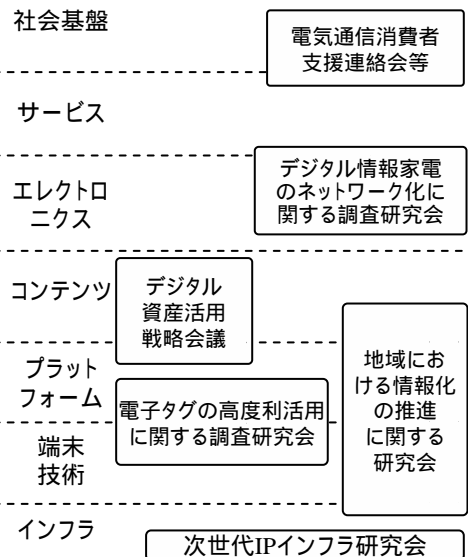


# 主な論点と懇談会の構成

(WG1：基本政策部会) 市場ニーズに基づいたサービス提供等を実現するためのユビキタスネットの全体概略設計図とその実現方策、すなわち“u-Japan政策パッケージ”を議論

- 戦略分野と取り組むべきテーマを決め、誰が何をどうするかという設計図を策定、u-Japanへの道筋を明示
- 利用者やIT産業の期待を実現するため、不安が残る部分について対応方策を他のWGと検討
- 2010年のユビキタスネット社会実現のための国の政策 = 「u-Japan政策パッケージ」を作成
  - 支援措置のあり方、調達基準のあり方、標準化活動、ネットワーク整備支援 等

他の研究会等(明示したものは例)



(WG2：IT産業部会) 国際競争力の強化や雇用創出、新ビジネス・サービスの創出を促進するための技術開発、人材育成、基盤整備等の方向性と行政の役割を議論

- 新ビジネス等の創出が期待できる分野の明確化と国際競争力強化のための課題抽出
- 新ビジネス・サービスの方向性
- 国際競争力の強化の方向性
- ITベンチャーの動向と課題 等
- 求められる行政の役割の整理
- 技術、サービス、アプリケーションの予測提示 等
- 新しい支援策の提示

(WG3：利用環境部会) 利用上の障害や不安を解消するため、既存の法や商慣習に加え、安心・安全なユビキタスネット社会を実現するためのルール整備が必要

- 参加者全員が守るべきモラルやルールを整理し、利用環境の整備状況を整理
- ユビキタス機器利用におけるプライバシー保護準則
- モバイル端末や電子メール・掲示板の利用マナー
- 電子商取引における法的ガイドライン 等
- 環境整備が必要な分野や具体的なガイドライン、制度見直し等の方向性を提示

総合政策パッケージ

IT政策における新たな政府方針へ貢献